

# 日本共産党 岡山市議団 5議席

## みんなの暮らしを守るために



### Topic 1 水道料金値上げにキッパリ反対

岡山市は水道料金の値上げの検討を始めました。水道会計が悪化し数年以内に赤字転落するためです。

一方で、吉井川の苦田ダムからの受水費は毎年固定で21億円です。少子化や節水で水需要自体が減る中、岡山市全体でみれば必要な水ですが、さらに受水量を増やす第2期計画まであります。

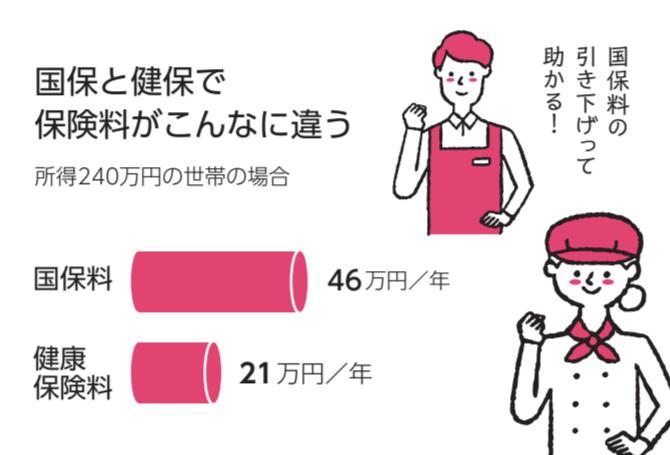
巨大ダムの過大な利水計画と巨額の建設債の負担を国の責任で減らすことこそ必要です。

21億円を聖域としたまま、市民の水道料金の値上げは許せません。署名にぜひご協力下さい。



### Topic 3 国保料引き下げを

国民健康保険は年金生活者や自営業者、配達員などが加入対象で、退職などで大半の市民がいつかは利用する公的医療保険です。保険料は、岡山市では所得240万円の世帯で年46万円。サラリーマンなどの協会けんぽ年21万円と比べて大変な2倍以上の高額です。払える国保料への引き下げは不可欠です。コロナにかかるのも、被雇用者にしか支給されない傷病手当の対象拡大も必要です。



### Topic 5 統一協会 ウヤムヤ許されない

統一協会と政治との関わりを22年9月と11月の議会で継続して取り上げたのは党市議団だけです。

統一協会との関係性について、マスコミが県議と市議全員にアンケートしましたが、「回答しない」という不誠実な議員もいます。関連の研修に参加して県の家庭教育応援条例の策定を

リードしてきた県議もいます。さらに、自民党県連は、県議市議の公認審査に際して、関係を断つ意思を確認しないと報じられました。

反社会的カルト集団である統一協会との関係性をうやむやにしたままにすることは許されません。



統一協会との関係で名前が挙がっている現職県・市議 (岡山市関係、敬称略)

	県議	市議
主催イベントに来賓出席	福島恭子、河本勉	和氣健、小川信幸、千間勝己、 成本俊一、山田正幸
イベントの実行委員や企画参加	河本勉	小川信幸、成本俊一、山田正幸
セミナーや勉強会等に参加	福島恭子、河本勉、波多洋二	小川信幸、千間勝己
広報媒体に登場	福島恭子	

### Topic 7 切実な願いを実現

#### コロナ禍で暮らしを守る

党市議団は新型コロナ感染症に関して11回の申し入れを行いました。

- 医療・介護・教育・保育などの従事者へのPCR検査拡充
- 学校・福祉施設などへのマスク・消毒液の配布
- 医療機関や農林漁業者への支援拡大
- 水道料金一ヶ月分減免

などが実現しました。



#### こんなことも実現

- 国保料3年連続据え置き
- 給付型奨学金の制度創設
- 認可保育園の増設
- パートナーシップ宣誓制度の導入
- 困窮女性や若年者の支援策の実現

などがあります。

### Topic 2 18歳まで医療費無料に

医療費が小学生から有料になるのは県内では岡山市だけ。中学生になると大人並みの3割負担です。障害児はもとから1割負担で、長年改善されていません。県内では18歳まで無料の自治体が多く、岡山市の制度の貧弱さは政令市で最低クラス、全自治体でもワースト5%に入ります。

党市議団は市民の運動と力をあわせ、くりかえし議会質問で18歳までの医療費無料化を求めています。

岡山市は

びっくりするくらい  
遅れてるね  
岡山市は

- 県内で就学後有料化は岡山市だけ
- 政令市中も最低クラス
- 全国でワースト5%

### Topic 4 学校トイレに生理用品の常備を

学校女子トイレに生理用品の常備を求める陳情が2年連続で否決されました。反対したのは自民会派とおかやま創政会などです。

市教委や陳情反対派は、子ども達に保健室に取りに来させることで相談機会をつくるなどと主張しますが、そもそも相談することが苦痛な子どももいます。声を上げられない子どもを置き去りにしない施策が必要です。

「トイレットペーパーを持参してください」

学校女子トイレに生理用品常備を求める陳情への賛否

結果	共産	自民系	公明	創政	熊代	羽場	小会派 鬼木	下市	森山	寺林
21年11月議会	不採択	○	×	○	×	○	○	○	○	×
22年11月議会	不採択	○	×	○	×	○	○	○	○	欠



### Topic 6 “市民の立場”が賛否の基準

結果	共産	自民系	公明	創政	熊代	羽場	小会派 鬼木	下市	森山	寺林
市立幼稚園・保育園を統廃合・民営化する議案 (19年9月、22年2月、22年9月議会など)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険料値上げの議案 (21年2月議会)	可決	×	○	○	○	○	○	×	○	○
学校給食は単独校方式を基本にと求める陳情 (21年2月議会)	不採択	○	×	×	×	×	○	○	×	欠
選択的夫婦別姓の法制化に賛成する陳情 (21年6月議会)	採択	○	※ 2	○	○	○	○	○	○	欠
インボイスの実施延期を求める陳情 (22年6月議会)	不採択	○	×	×	×	×	○	○	×	欠
日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める陳情 (22年9月議会)	不採択	○	×	※ 3	×	×	○	○	○	×

※1…賛成か欠席

※2…自民政は反対、それ以外の自民会派は一部が賛成か退席

※3…一部が退席

## “撮影禁止”“質問削減”

2022年6月議会から市民による本会議の撮影や録音が禁止されました。市民への情報公開に逆行です。また2023年6月議会からの質問時間の削減が決められました。議員の責務をないがしろにするものです。これらは自民・公明・創政が決めました。



結果	共産	自民系	公明	創政	無所属ク
市民による本会議の撮影・録音の禁止	決定	×	○	○	○
23年6月議会からの質問時間削減	決定	×	○	○	(×)

※無所属クは22年7月結成、4人以下の会派で議会運営の採決権を持たず意見表明のみ

### 共産の5議席が必要

議会運営の採決権を持ち、全ての常任委員会で議論するには、5議席が必要です。

市民に開かれた議会、市民の暮らしを守る議会にしていくため、党市議団は、議論を尽くす議会を目指します。